（作成日）　　　　年　　月　　日

**ＬＤ傾向**

　　　【通常の学級用】　個別の教育支援計画・個別の指導計画シート　（簡易版１）

合理的配慮実践事例集（H29長野県教育委員会）

P165～

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 　◇◇学校　　　年　　組 | 担任名 | ○○○○ |
| 氏名（フリガナ） | （　　　　　）男・女 | 生年月日　　　年　　月　　　日　　歳 |
| 保護者氏名 |  | 連絡先： |
| 諸検査結果 | ＷＩＳＣ－Ⅳ等ＦＩＱ　ＶＲＩ　ＰＲＩ　・・・ | 実態を把握するためのチェックシートから　言葉・文字　操作・動きの苦手 |
| 相談機関諸検査、相談機関との連携がある場合には,記載する。 | 医療　○○病院　△△医師福祉特別支援学校　　○○先生その他　学童保育 | 診断名と各機関の支援ＬＤ（書字障がい）1. 空間認知の苦手さがある。
2. 書く場所（マス）,板書をノートに写す箇所が明確だと分かりやすい。
3. 書字や宿題に困ったら本人の相談にのる。
 |
| 必要な支援（支援会議） | 書字の苦手について配慮する。（板書の仕方,テスト,宿題など）・書く量の調整　　・板書をノートに写す箇所を明確に示す。　 |

指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指導場面 | めあて | 　　　　　支援内容 | 評　価 |
| 授業中 | 板書をノートに写すことができる。 | ノートに写す箇所がはっきり分かるように,写す箇所の文字（文章）の周囲を色チョークで囲むようにする。 | 囲んだ箇所を中心にノートをとることができた。宿題のときに自分のとったノートを参考にする姿があった。 |
| テスト |  |  | その子の姿だけでなく支援の有効性についても評価する。 |
| 宿題 | 教科学習,宿題,テスト,生徒会,部活など指導の場面ごとに記入する。 | 校内の関わる職員すべてが,支援や配慮する点について記入する。 |  |
| 全体を通して行う支援・字を書くときには,書く箇所を示す,マスを使う,書く量を調整するなどの配慮をする。・口頭で聞いた話を書き留めることは困難なので,黒板に書く,メモを渡すなどの配慮をする。 |

このシートは,**通常の学級に在籍し,校外の支援も一部受けているが,支援が比較的少ない児童生徒の支援計画と指導計画を同時に立てるシートです。**校内委員会や支援会議等で決まったことを書いていき,関係者で共有しましょう。（保護者も入り定期的に会議が開催されているような児童生徒については,通常の形式のものを作成しましょう）